

家庭学習のてびき

1 まず、基本的な生活習慣を見直しましょう

～ はやね・はやおき・朝ごはんの習慣を大切に ～

2 つぎに、家庭学習の環境を整えましょう

～ きまった場所で、一定の時間、集中して ～

3 そして、学習習慣の定着を目指しましょう

～ 自学自習の習慣を ～



北斗市立大野小学校

○はじめに

小学校の学習は、将来社会人として自立していくための基礎となるものです。特に、以下の5点については、欠かすことのできない重要なものです。

- ◎「読むこと」
- ◎「書くこと」
- ◎「話すこと」
- ◎「聞くこと」
- ◎「計算すること」

本校では、授業の充実を通して、子どもたちの基礎学力の定着に向けて、工夫と努力を続けています。子どもたちの基礎学力を含んだ学力を定着させ、一層向上させていくためには、家庭と学校とがこれまで以上に連携を図り、家庭学習の充実及び習慣化を図ることが重要になってくると考えています。

そこで、子どもたちが家庭学習に効率よく、円滑に取り組むことができるように、「家庭学習のてびき」を新たに作成いたしました。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

○家庭学習のねらい

家庭学習における基本的なねらいを、次のように考えています。

- ◆家庭での学習習慣を身に付けさせること
- ◆学校での学習を振り返り、学習内容の定着化を図ること
- ◆自分から継続して学習する意欲を伸ばすこと

特に大切なのが、「学習習慣を身に付けさせること」です。小学校のうちから机に向かう習慣は、将来に大きく役に立ちます。

○規則正しい生活習慣の確立

家庭学習の習慣化を目指すためには、子どもたちの生活時間についても考える必要があります。学習習慣は生活習慣の一部であり、規則正しい生活習慣なしには望ましい学習習慣も形成されないからです。そこで、規則正しい生活習慣の確立に向けて、次の点にもご配慮ください。

- ◆子どもの生活時間と大人のそれは違います。大人の生活時間に子どもを付き合わせることは禁物です。
- ◆朝食はバランスよく食べましょう。体も脳も元気になり、学校生活が意欲的になります。
- ◆十分な睡眠は、体や心の成長にとっても必要なことです。
- ◆テレビ、ゲームなどは、時間を決めてやり、学習の妨げにならないようにしましょう。

家庭学習の習慣や方法について

1 家庭学習のポイント

① 習慣化にむけて

子どもたちに任せることができれば、それに越したことはありませんが、なかなか難しいのが現状だと思います。ただ、家庭学習ですので、保護者の時間管理や声かけが何より大切です。

② 「ながら」をしない。(テレビを見ながら・おやつを食べながら…)

「ながら」の学習ですと、どうしても集中力が下がります。限られた時間で効果的に学習するためにも、「ながら」の学習は避けましょう。

③ 学習する場をきれいにして行う。

整然とした環境で学習することは、しっかり定着させるために大切なことです。机の上には、学習に必要なものだけにしましょう。

④ 家庭での関わり方の基本は、

「取り組みを認め、できあがりほめ、続けられるように励ます」
ことです。

習慣化させるためには、保護者の方のご支援と本人の意欲がうまくかみ合うことが何よりです。認めらるること・ほめられることによって、さらに意欲を高め、継続させることで確実な習慣化につながります。家庭学習に自主的に取り組ませるためにも、おうちでのご支援をお願いします。

2 学年に応じた家庭学習

低学年 (1・2年)	中学年 (3・4年)	高学年 (5・6年)
○学校の宿題はできる	○学校の宿題は、確実にできる	○宿題がなくても、基本の学習ができる。
○毎日、家でも学習しようとする。	○宿題以外にも、少しずつ自主的な学習ができる。	○自分に必要な学習を理解し、自主学習ができる。
読書は、どの学年においても基本の取り組みです。		

3 家庭学習の時間のめやす

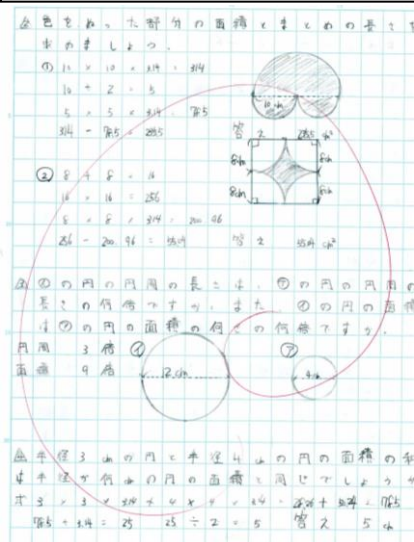
学年 × 10分

※あくまでめやすとしてお考えください

4 家庭学習の内容 (例)

国語	算数	社会・理科・総合
漢字練習・意味調べ・ 視写・音読・日記・ 俳句づくり	計算練習・定規(直 線・三角・分度器・コン パス)	学習したことに関係のあることを追加で調べる。
もちろん、「その日の復習」 や 「次の日の予習」 も…		

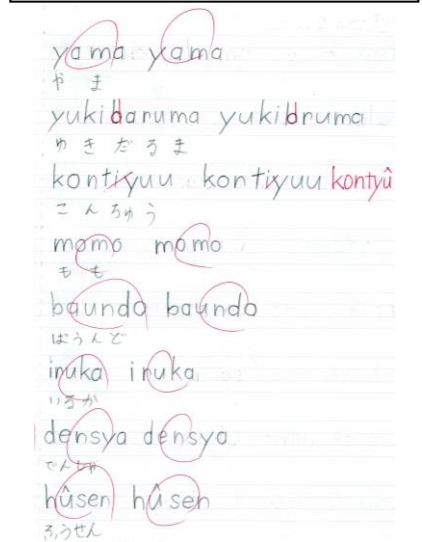
いろいろな形の面積の求め方



新出漢字の練習



ローマ字の練習



低学年(1・2年) 基本的な学習習慣を身に付け、 やる気を伸ばしましょう

- ・なんでも知りたがっています。
- ・がんばったことや、良いところをほめてほしいと思っています。
- ・一人で学習することや、やり方を決めるのは難しいです。

◎このころの育ち

- 学校に通い、系統だった学習の始まりです。様々なことに興味・関心を持ち、自分でやっつけようとする時期です。必要に応じて手助けをしながら、できたことについては、意欲と自信につながるように「よくやったね!」と笑顔でほめてあげましょう。
- 「はやね・はやおき・朝ごはん」はもちろんのこと、家の手伝いや自分で学習の準備をする習慣を付けていくことから、自ら学ぶ意欲を育てましょう。
- どんな出来事も、自分の都合のいいように話してしまう傾向がありますが、小さなことであっても「えらかったね。」「よくできたね。」とほめてあげることが意欲につながります。

◎家庭学習のポイント

一緒にいて、ほめて、やる気を起こす

- ・学習するときは、身の回りの整理整頓をさせましょう。
- ・学校からのお便りや宿題は、保護者が一緒に確かめましょう。
- ・正しい鉛筆の持ち方や姿勢に気を付けさせましょう。
- ・いつも決まった場所、決まった時間に取り組ませましょう。



◎学年で身に付けさせたい力

習慣付けの1年生

- ・鉛筆を正しく持って、正しい姿勢で字が書ける
- ・ひらがな、カタカナが読めて書ける。
- ・助詞「てにをは」を、使い分けて文を書ける。
- ・新出漢字(80字)のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・100までの数について正確に数えたり、表したりできる。
- ・一ケタのたし算やひき算が正確にできる。

逃げない子にする2年生

- ・新出漢字(160字)のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・順序良く話すことができる。
- ・九九がすらすら言える。
- ・たし算、ひき算、かけ算が速くできる。
- ・位をきちんとそろえて筆算で計算できる。
- ・決められた長さの直線を、定規で正確に引くことができる。
- ・時計(アナログ)を見て、何時何分か読み取る

中学年(3・4年) 自主的な学習習慣を身に付けましょう

- ・なんでも自分でやりたいと思っていますが、上手くできません。
- ・おこしの手伝いや応援で、少しずつ自分でできるようになります。
- ・ちょっとしたアドバイスや励まして、やる気を起こします。

◎このころの育ち

- 自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなります。行動範囲も広がってきます。
- 自己主張や反抗など、口答えも見られるようになります。まだまだ手助けが必要です。
- みんなで行動することを好み、同じものを持ちたがります。
- 子どもの成長をとらえ、まずはしっかりと話を聞いてあげることが心掛け、家族の温かい声掛けで学習に対する興味・関心を高め、育てていきましょう。

◎家庭学習のポイント

認め、ほめて、自信を付ける

- ・学習するときは、身の回りの整理整頓をさせましょう。
- ・学校からのプリントを確実に渡し、宿題を自分で確かめさせましょう。
- ・がんばりを見逃さず、励ましの言葉をかけましょう。
- ・いつも決まった場所、決まった時間に取り組ませましょう。

◎学年で身に付けさせたい力

分岐点を乗り越える3年生

- ・配当漢字(200字)のすべてが読み、8割以上の漢字が書ける。
- ・短い詩などをいくつか暗唱できる。
- ・簡単なことわざを知っている。 ・主語、述語の意味が分かる。
- ・国語辞典を使うことができる。
- ・かけ算の筆算や簡単なわり算を正しい手順で計算できる。
- ・はかりを使って重さを読める。

「9歳の壁」をやぶる4年生

- ・新出漢字(225字)のすべてが読み、8割以上の漢字が書ける。
- ・国語辞典や漢和辞典を手元に置いて使い方に慣れる。
- ・文と文のつながりを考えながら、指示語、接続語を使う。
- ・わり算の筆算ができる。
- ・コンパスを正しく使うことができる。
- ・ローマ字を適切に読み書きできる。
- ・地図を使って見知らぬ場所や地名を調べることができる。
- ・47都道府県の位置がわかり、正しく名前を書くことができる。

9歳の壁

人は自然に12歳までに抽象的思考ができるようにプログラムされています。

ちょうど9歳のころに、具体的思考(例:指折りに数を数えて答えを出す)から、抽象的思考(例:式にあらわし、計算から答えを出す)に移行します。

しかし、上手く抽象的思考に移行することができず、学習するときに混乱してしまう場合があります。

これを9歳の壁といいます。

高学年(5・6年) 自主性を大切に、 自学自習の習慣を身に付けましょう

- ・自分で「できる」と思っているのに、言葉かけや態度に配慮が必要です。
- ・得意な教科や苦手な教科を意識するようになります。
- ・先生や家族の言葉によって、学習に対する意欲や興味が大きく左右されます。

◎このころの育ち

- 自分でやろうとする心が大きく育ちます。
- 一人前に接してもらっているか、大切にされているかなど、大人からの評価が気になる時期です。
- 自分を客観的にみることができるようになり、友達からの評価を気にし、上手に人間関係を作れないことに、心を痛めることがあります。
- 考える力も大人並みになり、時には大人への反抗も見られます。
- 心も体も急激に変化します。バランスが崩れ、不安定になることがあります。気になることがあれば、学校としっかり連絡を取り合しましょう。

◎家庭学習のポイント

見守って、伸ばす

- ・自分に合った生活のリズムを作りましょう。
- ・計画を立て、自力で学習を進められるよう、見守りましょう。
- ・宿題以外に自主学習をさせましょう。
- ・新聞やニュースをテーマに家庭で話をするなど、社会の動きに興味・関心をもたせましょう



◎学年で身に付けさせたい力

大きくジャンプUPする5年生

- ・配当漢字(185字)のすべてが読み、8割以上の漢字が書ける。
- ・有名な詩などをいくつか暗唱できる。
- ・一般的なことわざを知っている。
- ・コラムなどを要約することができる。
- ・今まで習った漢字を使った熟語を書く。
- ・小数のかけ算・わり算が正確にできる。
- ・分数のたし算・ひき算が正確にできる。
- ・単位量あたりの考え方が分かる。
- ・パソコンでローマ字入力ができる。
- ・人や動植物の誕生や成長、物の動きの規則を知る。
- ・北方領土を含む日本や世界の主要国の位置を正しく示すことができる。

中学生活に希望がもてる6年生

- ・小学校で習ったすべてが読み、8割以上の漢字が書ける。
- ・小学校で習った漢字を用いた熟語が書ける。
- ・短歌や俳句のいくつかを暗唱できる。
- ・例示や引用などを使って主張することができる。
- ・分数の四則計算ができる。
- ・歴史上の事件や人物について、大体説明できる。
- ・重要な年号をある程度覚えている。
- ・日本国憲法の前文や三権分立など、社会用語を大体説明できる。
- ・自然科学の規則性を大体説明できる。
- ・理科の実験道具を正しく扱える。
- ・パソコンで速くローマ字入力ができる。

1ねんせいの かていがくしゅう

いえのひとと いっしょに よみましょう

もくひょう

- いえに かえったら できるだけ はやく しゅくだいを しましょう。
- まいにち 10ぷん いじょう がんばりましょう。
- テレビを みないで やりましょう。

かていがくしゅうをする まえに…

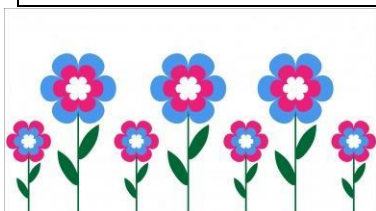
☆ がっこうからの おてがみは、 おうちのひとに わたしましたか？

☆ べんきょうする ばしょは、 かたづいて いますか？

☆ しせいや えんぴつの もちかたは、 ただしい ですか？

べんきょうすること やりかた

べんきょうすること	やりかた
① もじの れんしゅう (ひらがな・かたかな・かんじ)	① おてほんの じの かたちを よくみて、 ていねいに こく かきます。「とめる」「はねる」「はらう」にきをつけて かきましよう。
② さんすうの もんだい	② ぷりんとや どりるの もんだいをよく よんで やりましよう。
③ おんどくの れんしゅう	③ いま べんきょうしている ところを1かいよりおおく よみます。



かていがくしゅうの あとに…

- ・じかんわりを たしかめて あしたの じゅんぴを しましょう。
- ・えんぴつを けずって おきましよう。

2年生の かてい学しゅう

いえの 人と いっしょに よみましょう

もくひょう

- いえに かえったら すぐに しゅくだいを しましょう。
- まい日 **20分** いじょう がんばりましょう。
- テレビを 見ないで やりましょう。

かてい学しゅうを する まえに…

☆ 学校からの お手がみは、 おうちの人に わたしましたか？

☆ べんきょうする ばしょは、 かたづいて いますか？

☆ しせいや えんぴつの もちかたは、 正しい ですか？

べんきょうすること やりかた

べんきょうすること	やりかた
① かん字の れんしゅう	かん字を ノートに 1ページ 書きます。 正しい かきじゅんで ていねいに 書きます。 よみかたや おくりがなも おぼえましょう。
② 音読の れんしゅう	声に 出して きょうかしよを 読みます。 おうちの 人に きいてもらって 正しく 読めるように なりましょう。
③ さんすうの もんだい	プリントや ドリル学しゅうを しましょう。 せいかくに はやく できるようになりましょう。 おわったら まちがいがいいか たしかめましょう



かていがくしゅうの あとに…

- ・じかんわりを たしかめて あしたの じゅんぴを しましょう。
- ・えんぴつを けずって おきましょう。

3年生の 家でい学習

家の 人と いっしょに よみましょう

もくひょう

- 家に 帰ったら すぐに しゅくだいを しましょう
- 宿だ いかに できそうな 学習に とくみましょう
- 毎日 **30分** くらいは がんばりましょう。

家でい学習を する 前に…

☆ 学校からの お手紙は、 おうちの人に わたしましたか？

☆ べんきょうする ばしょは、 かたづいて いますか？

☆ テレビや ゲームの スイッチは 消えて いますか？

べんきょうすること やりかた

べんきょうすること	やりかた
① 漢字の れんしゅう	かん字を 正しい 書きじゅんで ていねいに 書きます。読み方や おくりがなも おぼえましょう。
② 音読の れんしゅう	今、勉強しているところを 読んで 家の人に 聞いてもらいましょう。 自分で気に入った本や、図書かんでかりた本を読みましょ
③ 算数の もんだい	プリントや ドリル学しゅうを しましょう。 ひっさんでは、 くらいどりに 気をつけて れんしゅう しましょう おわったら まちがいがいいか たしかめましょう



家でい学習の あとに…

- ・時間わりを たしかめて 明日の じゅんびを しましょう。
- ・えんぴつを けずって おきましょう。

4年生の 家庭学習

目 標

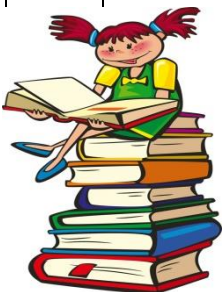
- **まずは しっかりと 宿題に とくもう。**
- **宿題以外の 学習にも 取り組む 習慣を付けよう。**
- **毎日 40分 くらい がんばろう。**

家庭学習を する 前に…

- ☆ 学校からの お手紙は おうちの人に 見せましたか？
- ☆ テレビや ゲームの スイッチは 消えて いますか？
- ☆ 勉強する 場所は かたづいていますか？
- ☆ 正しい 姿勢に なっていますか？

べんきょうすること やりかた

学習内容	やりかた
① 漢字練習	練習帳などに、覚えるまで書いてみます。 行の初めには、必ず読みがなも付けます。
② 算数の問題	教科書の練習問題や力を付ける問題、ほじゅうの問題、ドリル問題などを家庭学習ノートにやってみます。
③ 教科書を使った 復習	国語・算数・社会・理科の教科書で、大切なところを言葉や図・絵で家庭学習ノートに書き写します。
④ 自分に合った 問題	日記や言葉の意味調べ、ことわざ調べ、アルファベットやローマ字の練習などを家庭学習ノートにやります。



家庭学習の あとに…

- 時間割を確かめて、明日の準備をしましょう。
- 教科書やノートはもちろん、三角定規などの学習用具も確かめよう。

5年生の 家庭学習

目 標

- 毎日、家庭学習をする習慣を付けよう。
- 自主的な学習にも取り組もう。
- 毎日50分は、家庭学習をがんばろう。

家庭学習を する 前に…

☆ テレビや ゲーム スマホなどの スイッチは 消えて いますか？

☆ 勉強する 場所は 片付いていますか？

☆ 正しい 姿勢に なっていますか？

べんきょうすること やり方

	学習内容	やり方
	①漢字練習	練習帳などに、覚えるまで書いてみます。 行の初めには、必ず読みがなもつけます。
	②算数の問題	教科書の練習問題や力をつける問題、ほじゅうの問題、ドリル問題などを家庭学習ノートにやってみます。
	③教科書やノートを使った復習	その日に学習したことを、もう一度ノートに写し直したり、あらためてまとめてみたりしましょう。
	④次の日の学習の予習	次の日に学習するところを読んだり、大事な言葉をメモしたりしましょう。
	⑤自分に合った学習	辞書や辞典を使って調べたり、読んだ本や新聞の感想を決まった字数で書いたりしてみしましょう。



家庭学習の あとに…

- 時間割を確かめて、明日の準備をしましょう。
- 教科書やノートはもちろん、三角定規などの学習用具も確かめよう。

6年生の 家庭学習

目 標

- 集中して学習する習慣を身に付けよう。
- 自主的な学習にも取り組もう。
- 毎日60分は、家庭学習をがんばろう

家庭学習を する 前に…

☆ テレビや ゲームの スイッチは 消えて いますか？

☆ 勉強する 場所は かたづいていますか？

☆ 正しい 姿勢に なっていますか？

べんきょうすること やり方

	学習内容	やり方
	①漢字練習	練習帳などに、覚えるまで書いてみます。 行の始めには、必ず読みがなも付けます。
	②算数の問題	教科書の練習問題や力をつける問題、ほじゅうの問題、ドリル問題などを家庭学習ノートにやってみます。
	③教科書やノートを使った復習	その日に学習したことを、もう一度ノートに写し直したり、改めてまとめてみたりしましょう
	④次の日の学習の予習	次の日に学習するところを読んだり、大事な言葉をメモしたりしましょう。
	⑤自分に合った学習	辞書や辞典を使って調べたり、読んだ本や新聞の感想を決まった字数で書いたりしてみましよう。



家庭学習の あとに…

- 時間割を確かめて、明日の準備をしましょう。
- 教科書やノートはもちろん、三角定規などの学習用具も確かめよう。

**子どもたちの学びの定着に向けて、
家庭と学校がともに手をたずさえましょう！**